

# 中央検査部だより

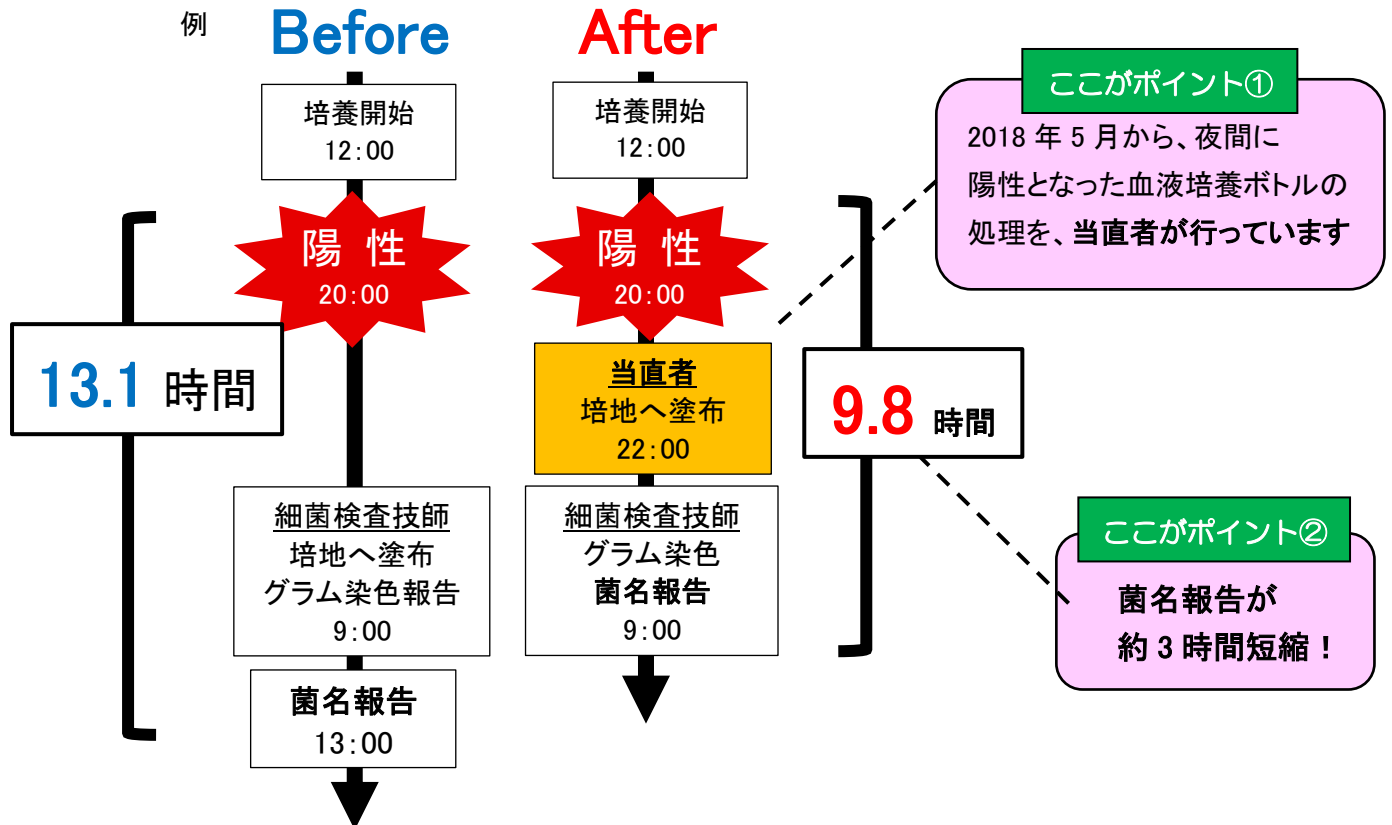
2019年3月12日発行 第68号

細菌検査室より

血液培養検査 医師への初回報告時間<sup>※</sup>が

13.1 時間 → 9.8 時間 に短縮しました！

※血液培養が陽性になってから、医師にグラム染色性 or 菌名を報告するまでの時間



菌名同定後、薬剤感受性試験の結果が出るまでに1日要します。菌名報告後、当院で検出された主な細菌の薬剤感受性結果をまとめた、[アンチバイオグラム](#)をご参照ください。

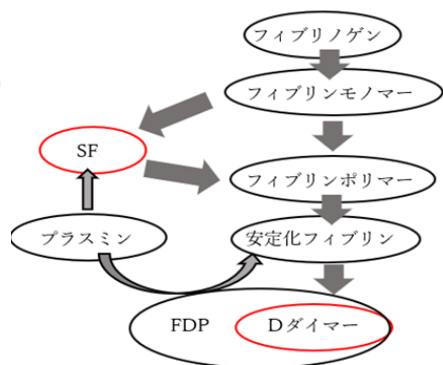
(電子カルテ左→感染症支援システム→2017年度薬剤感受性率)

## 副部長コラム

中央検査部 副部長 高橋 徹

庭の一角を開墾して畑作りをしています。キュウリやナスといったお手軽なのから始め、エダマメやサツマイモの豊作に気を良くして、ダイコンにホウレンソウと、狭い畝にあれこれ栽培しています。土いじりと収穫はおそらく人間の根源的な喜びなのでしょう、楽しいものです。さて、自分の畑が楽しくなると、よそ様の畑も気になるものです。怪しげに立ちどまってはじっくり観察するにつけ、新しいことに取り組むとこれまで気にも留めなかった興味が湧いてくるものだと気付かれます。こうした小さな変化を感じるのは、なんだか自分にも新しい芽が出てきたようで嬉しくなります。さあ、春です。かわいい花が見たいので、今年も春ジャガにチャレンジしようかな。こんなことを思う、今日この頃です。

**\* 可溶性フィブリン(SF)は院内で測定可能項目です \***



可溶性フィブリン(SF)とは、フィブリノゲンが安定化フィブリンになる過程で生成される物質で、Dダイマーは安定化フィブリンがプラスミンによって切断された物質です。左図からも分かるようにDダイマーよりもSFの方が先に生成されます。よって、これらのマーカーが重要となってくる静脈血栓塞栓症(VTE)発症患者では、DダイマーはVTE発症時に高値を示し、SFは発症前から高値を示すとされています。<sup>1)</sup>また、人工股関節全置換術(THA)術前後のSFとDダイマーの変動を右下に図で表します。DダイマーよりもSFの方がより早く鋭敏に高値を示しています。<sup>2)</sup>

その他に、**予後予測にも利用できる**とする報告もあります。<sup>3)</sup>播種性血管内凝固症候群(DIC)患者においてSF高値の状態から、SF低下の場合は予後良好、さらにSF上昇の場合は予後不良傾向となります。2017年版の**DIC診断基準**ではDICの本態である全身性持続性の著名な凝固活性化を反映する凝固活性化マーカーの必要性から、スコア対象の分子マーカーに新しくSFが採用されました。

SFはより早期に血栓形成の指標やDICの診断・予後予測に利用できます。そのため、DICやDVTのリスク因子となりうる手術や妊娠、血流の停滞が予測される患者さんで有効に利用できると考えています。

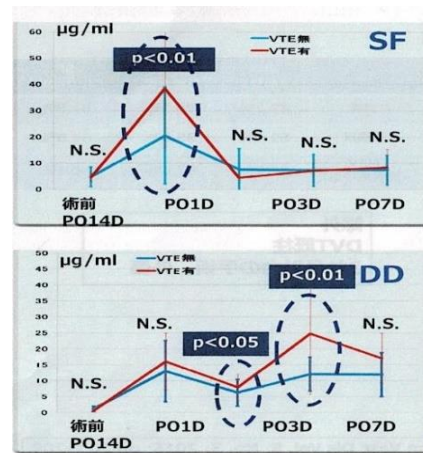


図:手術前後のSFとDダイマーの変動

- 1) Mitani et.al.J.Orthop.Surg.Res(2015)10:172
- 2) 稲葉裕他:第14回TTMフォーラム記録p53-60 2014
- 3) 中原ら Thromb Haemost.2003 89(5)

**検査室紹介  
病理・一般**

病理検査室では、病理組織検査や細胞診検査を行っています。近年、分子標的薬やそれに伴うコンパニオン診断薬が次々登場する中で、当検査室では検体品質を保持したホルマリン固定パラフィン包埋検体を作製することに努めています。適切な検査結果を提供するために、切除された臓器や採取された組織は速やかに10%中性緩衝ホルマリンに浸漬していただくようお願いいたします。遺伝子関連検査は外注にて行っていますが、提出方法などご不明な点があれば病理検査室までお気軽にお問い合わせ下さい。

一般検査室では主に尿検査、便潜血検査を行っています。一般検査室には細胞検査士が配属されており、尿沈査中に異型細胞や不明細胞を初回に発見した際には、直接主治医に連絡させていただき細胞診検査をお勧めしています。病理検査室との連携により症例の検証も行っており、さらなる精度向上に努めています。

